

認知症の現状と将来推計: 三菱UFJ信託銀行



三菱UFJ信託銀行

トップ

解約制限付信託
「みらいのまもり」と
は

老後に必要な資
金

認知症について

ご契約者さま
専用ページ

トップ > 認知症について > 認知症の現状と将来推計

認知症の現状と将来推計

世界保健機関（WHO）が発表した報告書によれば、世界の認知症有病数は現在、およそ3,560万人に上ります。そして、2030年までに2倍の6,570万人、2050年までに3倍の1億1,540万に増えると予測されているのです。

では、我々の住む日本はどうでしょうか。実際にどのくらいの方が認知症を発症していて、将来はどの程度の方が認知症を発症すると予想されているかを表したのが下のグラフです。

65歳以上の高齢者のうち認知症を発症している人は推計15%で、2012年時点で約462万人に上ることが厚生労働省研究班の調査で明らかになっています。

そして、その数が2025年には730万人へ増加し、65歳以上の5人に1人が認知症を発症すると推計されています。

認知症について

認知症とは

認知症の現状と将来推計

もの忘れと認知症の違い

認知症の種類

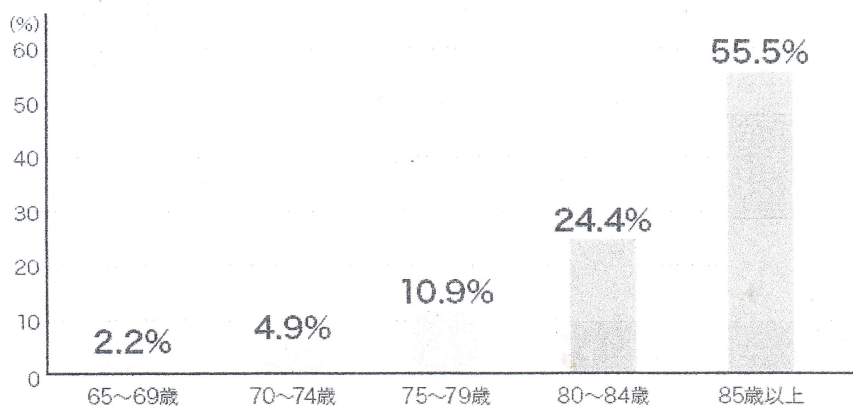
認知症特有の症状

軽度認知障害（MCI）について

その他認知症に関するQ&A

また、高齢になるにつれ、認知症の割合は増加すると予想されています。85歳以上では、55%以上の方が認知症になるといわれ、今は大丈夫であっても、将来は適切な判断ができなくなるかもしれません。

認知症にかかっている方の割合（年齢別）



出典：「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」（平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業）より算出